

## 令和3年神奈川県議会第3回定例会 防災警察常任委員会

令和3年12月14日

佐々木(正)委員

まず、運転免許センターにおける日曜日の学科試験について質問をさせていただきます。

今年の2月から平日の学科試験はオンライン予約が導入されたと、このよう承知をしておりますが、日曜日の学科試験については、依然として往復はがきの予約となっております。また、往復はがきなんですが、日曜日に受験した人が落ちた場合は、二度と日曜日は受験できないという少し変わったシステムになっているようですが、9月の常任委員会でも日曜日のオンライン予約の導入をしてもらいたいと、このような要望をしたところでありますが、初めに、この運転免許試験の学科試験の予約部分についてお伺いをいたします。

運転免許課長

平日と日曜日に分けて御説明いたします。平日の学科試験は、従前は予約制を導入していませんでしたが、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、受験者数を限定する必要が生じました。そこで、昨年11月から電話による予約を開始し、さらに本年2月からはオンライン予約を開始しました。

日曜日の学科試験は、平成18年の開始当初から往復はがきによる予約制をしていますが、オンライン予約は行っておりません。

佐々木(正)委員

それでは、平日と日曜日の学科試験の受験者数について伺います。また、他の都道府県の日曜日の学科試験の実施状況について伺いたいと思います。

運転免許課長

学科試験の受験者数は、本年1月から10月までの10か月間で平日約9万5,000人、1日平均約450人、日曜日は約3,000人、1日平均約70人が受験しています。また、当県以外で日曜日の学科試験を実施している都道府県はないと承知しております。

佐々木(正)委員

この日曜日の受験、神奈川県警だけやっているということについては、非常に頑張っていただいているということで高く評価したいと思いますが、遡れば平成18年の我が会派の議員の質問によって日曜日も県警は取り組んでいただくことになったと承知していますが、その辺りだけ確認したいのですが、それでよろしいでしょうか。

運転免許課長

委員のおっしゃるとおりでございます。

佐々木(正)委員

次に、平日のオンライン予約の利用状況について伺いたいと思いますが、それとともに平日のオンラインの予約制を導入したことによる効果についても伺います。

運転免許課長

まず、本年2月の学科試験からオンライン予約を開始していますが、10月ま

での9か月間で電話予約を含めた予約数は約8万5,000人、オンライン予約利用率は約99%となっております。

また、オンライン予約開始前は、電話がつながりにくい、希望日の予約が取りづらいとの意見が寄せられておりましたが、オンライン予約制を導入後は解消されております。

佐々木(正)委員

取組に感謝します。日曜日の学科試験におけるオンライン予約制の実施については、できるのか、できないのか、今後についてのお話を伺いたいと思います。

運転免許課長

日曜日の学科試験におけるオンライン予約制については、年度内には実施できるよう調整を進めています。オンライン予約は平日と同様に、県の電子申請システムを活用いたします。

今後も利用者の運転免許手続における利便性の向上と業務を合理化していくため、研究してまいりたいと考えております。

佐々木(正)委員

来年度できるということで、大変、早速の御対応に感謝を申し上げますとともに、現場の声は、日曜日に受験した学生さんとかの声があるんですが、落ちる人もやっぱりかかる人もいますよね。そういう人は何で日曜日に再度受験できなかいかという疑問が普通にございます。そこについても今後しっかりと検討していただいて、体制が整えば、その方向性でやっていただければというふうに要望して、次の質問に移ります。

高齢運転者の免許手続の円滑化に向けた取組についてでありますけれども、昨今、高齢者の痛ましい交通事故が頻発をしている中で、我が会派においても高齢運転者の悲惨な交通事故を防止していくことで、免許証の更新時に受験、受講が義務づけられている認知機能検査とか高齢者講習を円滑にできる環境を整備していくことが非常に重要だというふうに認識をしております。それも県警に対して質問を通じて要望を行ってきたところでありますけれども、初めに高齢者講習等の待ち期間の状況について改めて確認をさせてください。

運転教育課長

令和3年9月末現在の高齢者講習等の待ち期間でございますけれども、認知機能検査が約44日、高齢者講習が約58日、合計約102日となっております。

昨年末時点では、認知機能検査が約62日、高齢者講習が約91日、合計約153日の待ち期間でございましたので、認知機能検査が約18日、高齢者講習は約33日、合計で約51日短縮している状況でございます。

佐々木(正)委員

それでは、本年9月から運用開始している高齢者講習の実車指導専用コースの運用状況について伺います。

運転教育課長

高齢者講習の実車指導専用コースは、本年9月3日から運用を開始しております。車両3台を走行させまして、1日約70人、一月では約1,400人の受入枠を確保しております。専用コースでの実車指導は、11月末現在でございますが、

4,054人に対して実施しております。

佐々木(正)委員

それでは、各教習所における認知機能検査及び高齢者講習の受入状況について伺います。

運転教育課長

本年11月末現在の自動車教習所の受入状況でございますが、認知機能検査が約8万6,000件、昨年同期比でプラス約7,000件、高齢者講習が約16万件、昨年同期比はプラス1万7,000件でありますので、いずれも昨年より受入数は増加しております。

現在、業務を委託している40の教習所に対しまして、職員が直接赴きまして検査、講習の実施状況について確認するとともに、さらなる受入れの拡大を依頼しているところでございます。

佐々木(正)委員

それでは、認知機能検査及び高齢者講習の予約受付を円滑化するための取組についても伺います。

運転教育課長

認知機能検査及び高齢者講習の予約の受付の円滑化を図るための取組でございますけれども、運転免許センターでの予約受付については、できる限り多くの方々から予約電話を受け付けることができますように、受理する職員の体制等について検討を行ってまいります。

また、本年7月からは、免許センターで行います検査、講習について、県の電子申請システムe-kanaagawa電子申請でオンライン予約を開始していることから、これを広く周知いたしまして、オンライン予約の利用を促進することで、受付の円滑化を図っております。

佐々木(正)委員

それでは最後に、来年5月から開始される運転技能検査の受入れについてお伺いをいたします。

運転教育課長

運転技能検査は、75歳以上の普通自動車免許を持っている方のうち一定の違反がある方に義務づけられる検査であります。検査の結果、一定の基準に達しない場合については、免許を更新することはできません。

年間の受験者数については、不合格となって再受験する方も含めて延べ約1万3,000人と試算をしているところです。

この運転技能検査については、検査の水準を一定に保つこと、また、教習所には高齢者講習等の受入れをさらに拡大していただきたいこと、これらのためにも、当面は全て運転免許センターで受入れを行う予定としております。

佐々木(正)委員

最後に要望を申し上げたいと思います。

高齢者の運転免許更新手続に伴う認知機能検査とか高齢者講習なんですけれども、再三我が会派も県警のほうに様々な御要望をずっとしてきました。私としては、県警だけの対応だけではなかなか難しいんじゃないかというふうに結論づけております。これは県当局、あるいは市町村も協力をして、今、出張を

課長含めてしていただいて、高齢者講習もやっていただいている。それでも例えば私の地元の相模原なんかでは、高相合庁が今度建て替えになって場所がないとか、そういうことも含めて、県及び市町村の協力も必要なんじゃないかなと。出張の認知機能検査ができるように、そういうことも、自分自身も委員長をはじめいろいろ相談して取り組んでいきたいというふうに思っておりますが、あわせて高齢者の講習についても、今県内にある教習所の中でやっていたいっているんですけども、このコースについても市町村や県と協力して拡大をするなどしていかないと、当然ずっと高齢化が進んでいく中ですので、さらにまた高齢者が増えていく中で逼迫していくというのも目に見えているものですから、全体として県警だけに押しつけるのではなく、様々な角度から総合的に判断してこれを推進していただきたいというふうに思いますので、県警についてもそういう思いで取り組んでいただきたいということを要望して、質問を終わります。